

新川高校における進学型キャリア教育のグランドデザイン

～豊かな人間性を育み、21世紀の開拓者となるべき逞しい生徒を育てる～

新川高校における進学型キャリア教育の目標

- ◇自己を知り受け入れ可能性を見出す（発見）
- ◇自己の未来をデザインする（探究）
- ◇目標の実現や課題の解決に向けて主体的に取り組む（実行）

実現する未来（Coming true）

◇（新川高校の目指す）社会人基礎力

Action Communication Thinking

①試行

④傾聴

⑦調査

②協働

⑤発信

⑧質問

③解決

⑥柔軟

⑨活用

○学び続ける力

Learning

⑩準備

⑪整理

⑫継続

校内活動

各教科
エリア科目
総合的な探究の
時間（FT）
特別活動
部活動

キャリアカウン
セリング
ガイダンス

実行する3年（Action）

- ◇目標達成に向けて困難を克服する
- ◇多様な価値観を尊重し調整を行う
- ◇自己の取組に対して振り返りと改善を行う
- 学んだことを基に課題に取り組み解決する

関係機関連携

家庭・地域
近隣小中学校
市立高校・中等教
育学校
大学・短大
企業等

探究する2年（Thinking）

- ◇様々な情報から自己実現に向けた目標を定める
- ◇実践を通してプレゼンテーション力を身につける
- ◇興味・関心・適性を理解し将来のビジョンを設定する
- 学問を掘り下げ興味・関心を広げて課題を発見する

ボランティア活動
学びのデザイン
進路探究セミナー
上級学校セミナー
講演会

発見する1年（Communication）

- ◇活動を通して自己の適性・能力を知る
- ◇新しい環境に適応するとともに人間関係を構築する
- ◇情報を広く収集し整理する力を身につける
- 学問との出会いを通して自己の興味・関心を知る

未来を実現するために、社会で生きる力・社会で生きる力としての
「社会人基礎力」と「学び続ける力」を、全ての教育活動の中で意図的に育成する

Action Communication Thinking & Learning

新川高校の ACT & Learning

ACT & Learning		具体的な取組例
Action 行動する	試行	はじめてのことや苦手なことに対しても、失敗を恐れず挑戦する。
	協働	全体の状況を把握し、他者と助け合い、調整しながら取組を進める。
	解決	他者からの助言を取り入れたり、試行錯誤するなどして困難を突破する。
Communication 他者と関係する	傾聴	他者の意見に耳を傾け、その内容や意図を十分に聴き取る。
	発信	適切な言葉、表情・身振り、資料等を用いるなど、自分の考えを分かりやすく正確に伝える。
	柔軟	異なる意見にも傾聴し、気持ちを制御して、広い視野から課題解決の方策を導く。
Thinking 考え抜く	調査	メディア等から情報を収集し、必要なものを取捨選択する。
	質問	自身の理解を深化させたり、取組の適切さを確認するため、他者の意見を聴く。
	活用	獲得したスキルを他のことに活用したり、様々なスキルを組み合わせたり知識を関連付けたりする。
Learning 学び続ける	準備	全体の流れをイメージし、必要なものをそろえたり、スケジュール、態勢、気持ちを整えたりする。
	整理	取り組むべきことの優先順位をつけたり、取捨選択を行ったりする。
	継続	失敗や停滞することがあっても、方法を工夫したり繰り返し取り組んだりする。